

学会賞の選考結果について

証券経済学会賞選考委員会

1. 応募状況

応募数 2 点（著書 2 点）

2. 選考結果

最優秀賞 該当なし

優秀賞 前田真一郎『米国リテール金融の研究～消費者信用の歴史的発展過程』日本評論社、2014 年刊

3. 講 評

選考に際しては、以下の評価基準で審査を行った。

- ・ 学術書としての要件を満たしているか
- ・ 研究内容にオリジナリティがあるか
- ・ 問題意識、分析枠組みが明確で、著書としての完成度が高いか
- ・ 先行研究を十分に消化しているか
- ・ 証券経済学会のテーマとして相応しいか

応募業績のうち 1 点は、外国為替市場、株価指数、デリバティブなど金融市場の変動性に関する広範な領域について、ARCH 型モデルにより分析している意欲的な著作である。各章ごとで扱う分析対象の記述構成が統一されており、それぞれに興味深い結論が述べられている。併しながら、経済学的な視点からは、必ずしも重要な新しい知見が見出されていない。このため、学会賞には今一步との評価となった。

一方、前田真一郎氏の著書は、この分野における先行研究を踏まえ、米国リテール金融の発展段階を理論的かつ体系的に整理しており、学術書としての完成度が高い。日本国内での研究が手薄な分野であるだけに、この業績は学問的に貴重な成果と評価し得る。その半面、サブプライムローンの証券化の分析が充分ではないなど、証券という視座からは僅かながら物足りなさも残る。畢竟、本書は必ずしも証券経済そのものの研究を行ってはいないと看做さざるを得ないが、半面で証券経済学会が定める学会賞規程の対象領域の範囲内には収まっていると言える。これらから、本書を本学会の最優秀賞とするにはやや難があるものの、優秀賞には十分に相応しいものと判断される。

以 上